

# 災害廃棄物処理現場の実態

## 令和4年8月1日から6日の前線による大雨

令和5年5月31日



環境省近畿地方環境事務所 資源循環課

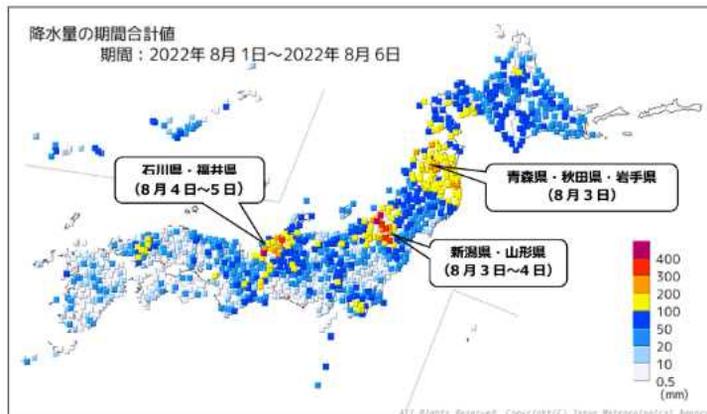
2

### 災害をもたらした気象の概況



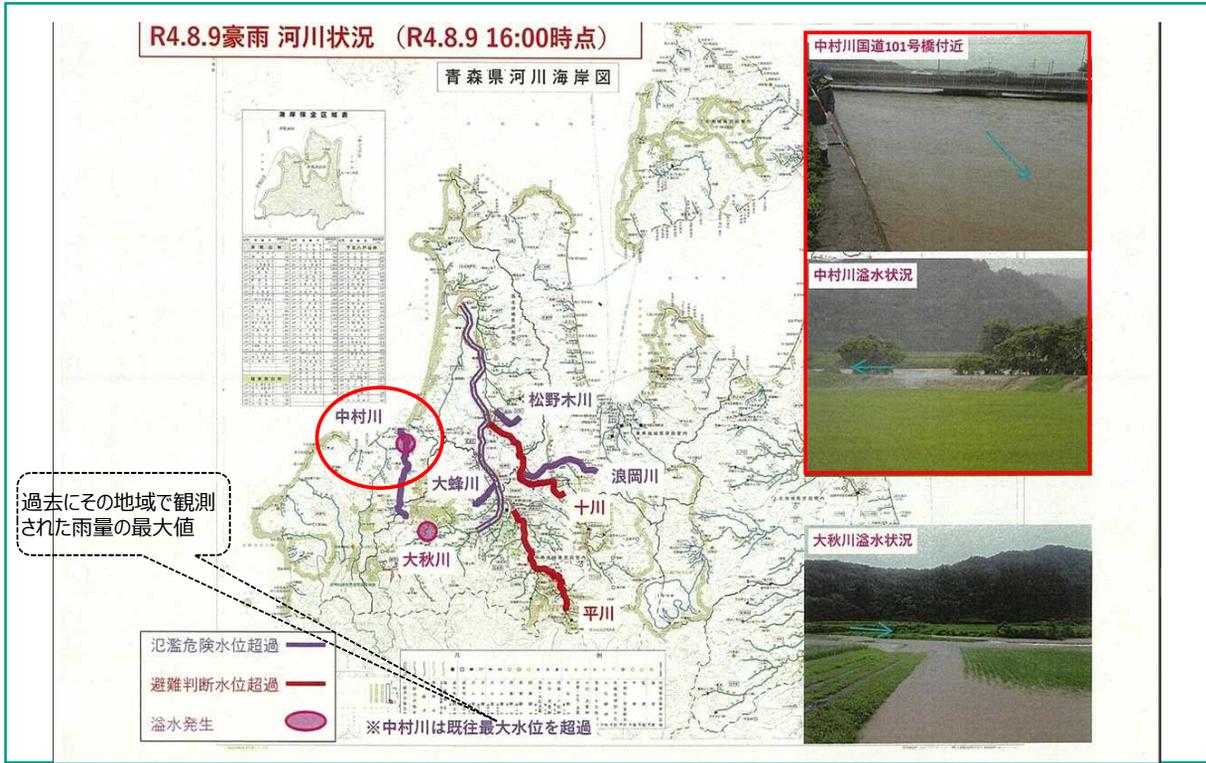
#### 8月1日から6日の前線による大雨

■ 8月1日から6日にかけて、日本海から東北地方・北陸地方にのびる前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、北海道地方や東北地方及び北陸地方を中心に大雨となった。このうち、**3日夜には新潟県と山形県で線状降水帯が発生し、雷を伴った猛烈な雨が断続的に降り続いた。3日から4日にかけては複数の地点で24時間降水量が観測史上1位の値を更新**するなど、青森県、山形県、福島県、新潟県、石川県、福井県で記録的な大雨となった。このため3日19時15分に山形県を対象に、4日1時56分に新潟県を対象に大雨特別警報を発表した。





# 令和4年8月9日豪雨 河川状況



出典：令和4年8月3日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議資料より



# 令和4年8月大雨における住家の被害状況 [棟]

都道府県名	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計
北海道		2		43	166	211
青森県	8	432	285	15	61	801
岩手県				12	44	56
秋田県		3	7	122	335	467
山形県	2	53		183	514	752
福島県	1	3	8	14	145	171
群馬県			3			3
千葉県			1	1	10	12
神奈川県			2			2
新潟県	8	23	5	886	1,512	2,434
富山県				20	113	133
石川県	1	5	18	322	1,224	1,570
福井県	7	76	3	77	179	342
山梨県					1	1
長野県			2	1	31	34
岐阜県				3	31	34
静岡県				27	30	57
愛知県					1	1
三重県					10	10
滋賀県		2		4	22	28
京都府			1	4	3	8
奈良県				9	70	79
和歌山県				1	6	7
岡山県				3	37	40
広島県			2			2
福岡県				1	31	32
合計	27	599	337	1,748	4,576	7,287

※出典：内閣府防災情報（令和4年11月14日時点）



# 令和4年8月3日からの大雨の状況

**関川村 丸山公園仮置場**  
9月8日

**村上市 小岩内地区被害状況**  
(こいわうち)  
8月27日

**青森県**  
**秋田県**  
**五城目町**

**山形県**  
**福島県**  
**喜多方市**

**石川県**  
**新潟県**  
**富山県**  
**福井県**  
**滋賀県**

**50 km**  
出典：国土地理院地図

**鯉ヶ沢町 旧大高山スキー場仮置場**  
8月16日

**川西町 旧資料展示館仮置場**  
8月7日

**飯豊町 どんでん平ゆり園仮置場**  
8月8日

**小松市 ドーム駐車場仮置場**  
8月8日

**南越前町 今庄地区被災状況**  
8月6日

※画像は全て環境省撮影



# 令和4年8月3日からの大雨における環境省の取組（災害廃棄物）

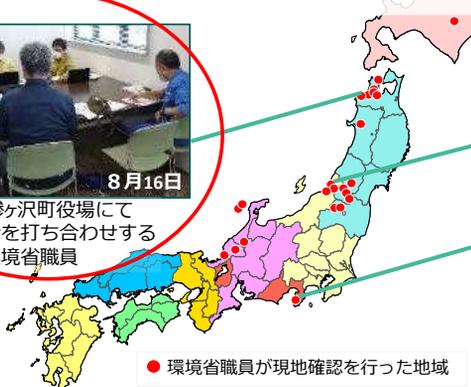
■ 災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）及び関係機関（国土交通省、JVOADなど）と連携し、市町村への支援を実施。

## 現地支援（令和4年12月8日時点）

<p><b>地方環境事務所職員等 現地支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣人数：のべ80名・日</li> <li>・派遣期間：8月4日～</li> <li>・派遣先：9県24市町</li> <li>・内容：現場の状況確認及び仮置場の適切な運用に向けた技術的助言等</li> </ul>	<p><b>D.Waste-Net 現地支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣人数：のべ8名・日</li> <li>・派遣期間：9月6日～14日</li> <li>・派遣先：南越前町</li> <li>・内容：災害等廃棄物処理事業費補助金申請書類の作成等に係る支援</li> </ul>	<p><b>災害廃棄物処理 支援員制度（人材バンク）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣人数：のべ20名・日</li> <li>・支援自治体：神奈川県横浜市、千葉県館山市、鋸南町、長野県長野市、佐久市</li> <li>・支援期間：9月16日～</li> <li>・支援先：青森県鯉ヶ沢町、新潟県村上市、関川村、石川県小松市、福井県南越前町</li> </ul>	<p><b>補助金に関する WEB説明会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：8月17日、18日、22日</li> <li>・実施先：石川県・福井県内市町村</li> <li>※その他自治体は個別に説明</li> </ul>
---	---	--	---



青森県鯉ヶ沢町役場にて今後の方針を打ち合わせる環境省職員



静岡県松崎町における災害廃棄物仮置場の様子



新潟県村上市における災害廃棄物仮置場の様子



# 鯉ヶ沢町の被災状況



## 鯉ヶ沢の被害情報(第28報/最終報)

- 住宅被害  
半壊300棟、一部損壊64棟
- 振り始めてからの総雨量  
(8月8日13時~13日14時)  
345.0mm
- 避難指示は9日から5  
日後の14日午後3時まで
- 災害廃棄物発生量  
町の年間のゴミ排出量の1.3倍に相当する  
4000トンにのぼると推計

## 災害廃棄物への対応状況

- ◆ 8月12日 仮置場の状況等を確認。
- ◆ 8月15日 町からの要請を受け、協定書に基づき、産資協へ協力を要請。
- ◆ 8月16日、18日、19日、30日 被災状況や仮置場の状況等を確認し、町役場等にて災害廃棄物の処理方法等について検討。

➡ 動画 1



# 鯉ヶ沢町からの住民広報

## 家庭から出される災害ごみについて

家庭から出される災害ごみについて、仮置場への受入及び巡回回収を8月12日(金)午前8時30分より実施いたします。

なお、**事業用の用品、汚損した商品等は回収いたしません**のでご了承ください。

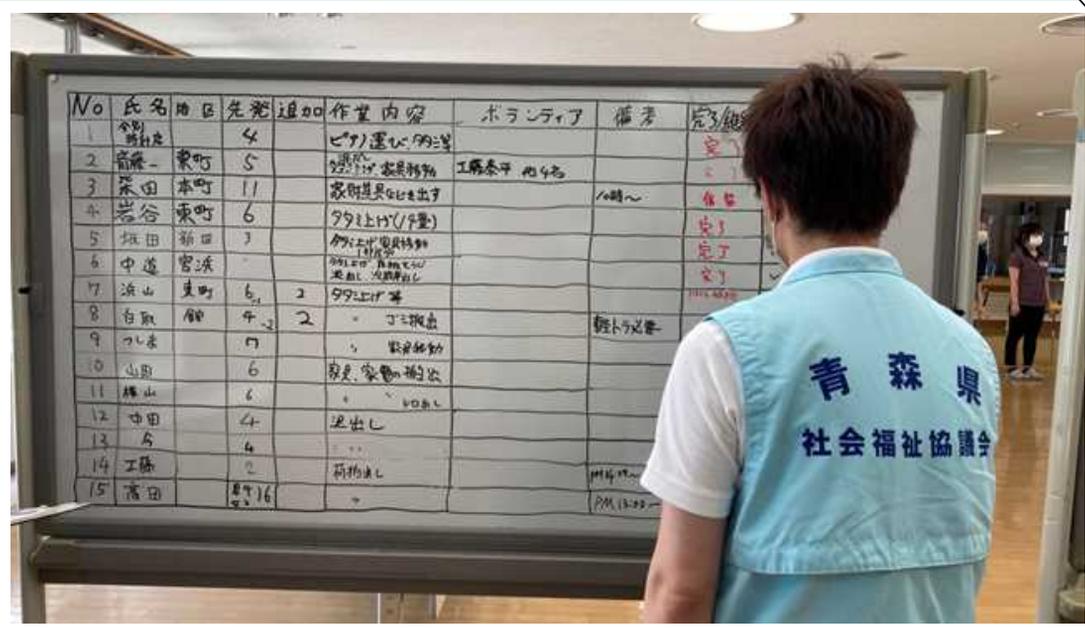
1. 開始日 令和4年8月12日(金)8時30分~
2. 受入時間 8時30分~16時00分
3. 回収時間 8時30分~16時00分
4. 仮置場 旧大高山スキー場駐車場 (裏面参照)  
※持ち込みの際は、下記品目の表示板の区画ごとに積み下ろしていただきますので、係員の指示に従ってくださるようお願いします。
5. 回収品目 粗大ごみ、畳、カーペット類、家電4品目(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン)、4品目以外の家電、ガラス・瀬戸物類、ふとん、金属類、木くず、有害ごみ、その他
6. 回収しないもの **ブロック・コンクリート類、燃料、塗料類、ボイラー**など
7. 可燃ごみ 災害ごみのうち、**紙類や衣類など燃えるごみについては、通常の収集日に回収**いたしますので、指定日に各町内の集積所に出してください。
8. その他 **家屋・敷地内に堆積した泥については、役場で配布した土のう袋に詰め、敷地内等にまとめて水切りして置いてください。**後日、回収します。

問い合わせ先

鯉ヶ沢町役場 72-2111 (代表)

➡ 動画 2

# 災害ボランティアセンター（8月12日設置、9月30日閉鎖）



## お手伝いできることの例

- 1. 自宅内の片づけ（家具の移動など）
  - 2. 家屋の清掃
  - 3. 泥だし
  - 4. 災害ごみの運搬 など
- その他、困りごとなどありましたらご連絡ください。

- ※受付状況等により、ご希望の内容や日程にそえない場合もございます
- 費用は無料です
  - 依頼者の立会いのもと活動を行います
  - 危険が伴ったり、専門的な対応が必要な場合はお断りする場合がございます

●町社会福祉協議会  
ボランティア延べ772人

## 鯨ヶ沢町の家屋被災の様子



舞戸正八幡宮の被害は、拝殿が畳の上まで浸水、土台が傾く。社務所兼住宅が床上90cmの浸水で、一階に置かれていた物がほぼ水没

# 仮置場配置図 (旧大高山スキー場駐車場)

## 災害廃棄物仮置場配置図



## 仮置場 (8月12日設置、9月9日閉鎖)



動画 3



# 旧焼却工場跡地に新しい仮置場を設置準備

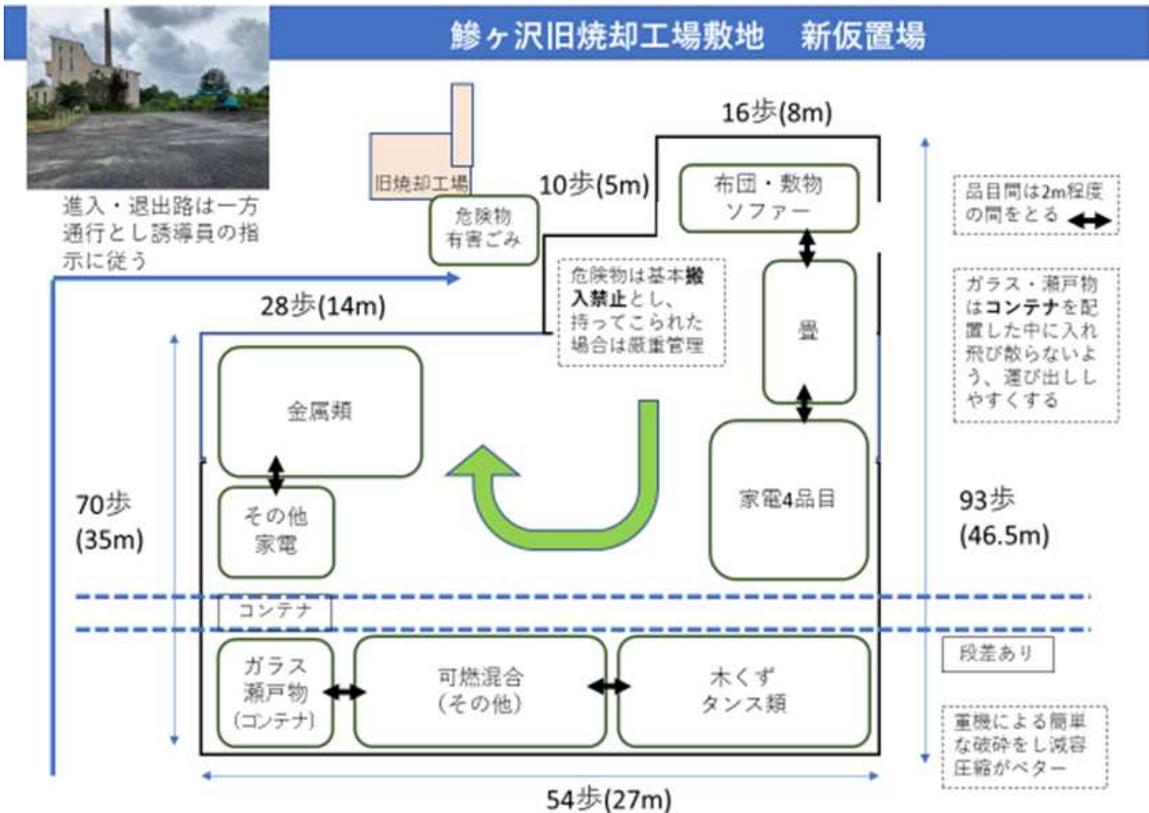
着工前 (ヤード造成)



完成 (ヤード造成)



# 旧焼却工場跡地に新しい仮置場を設置準備





## 良かった点

- 仮置場開設が比較的早く、町担当者による適切な運営管理体制が取れていた。
- 被災地域から仮置場までの搬入時間が20分以内であり、被災地域からの収運がスムーズだった。
- ボランティアによる軽トラ等の収集運搬車両の手配及び運搬の支援の実施が出来ていた。

## 悪かった点

- お盆の時期に被災したため、県、産資協会等との連携を十分とることが出来ていなかった。
- 管理されていない仮置場が1箇所出来てしまっていた。
- 仮置場の設置場所が谷筋にあたり、浸水が多く排水ポンプによる水処理が必要となっていた。
- 新しい仮置場の設置準備を行ったが、管理運営体制の人員確保や運用方法を十分検討していなかったため、結果的に活用することが出来ていなかった。